

新型コロナ対策の落とし穴

パチンコ店では クラスターを防いでいた！

3密の前に①・②・③を！

- ① エアコンの消毒（定期的）
- ② 空気を入れ替える強力な換気扇（夏用・冬用）
- ③ 空気清浄機の設置

●●●●先生

産科医の久保田史郎と申します。パチンコ店ではクラスターが何故か発生しておりません。

昨日、医療ジャーナリストとして、パチンコ店取材いたしました。

佐賀市の某パチンコ店でしたが、凄い数の換気扇が設置されていました。空気がクリーンで、タバコの匂いがほとんどありませんでした。エアコンは月2回 業者が定期的に清掃しているそうです。パチンコ店を是非ご見学ください。ホテルや介護施設などはエアコンだけの設定で、空気清浄機での換気が満足に行われておりません。新型コロナウイルス感染症について追跡調査ができない程、感染者が増えておりますが、エアコン感染が最も疑われます。エアコンの清掃・換気・空気清浄機の設置を積極的にお勧め下さい。

夜の新宿・池袋が悪いのではなく、エアコンの清掃を怠っていたことこそがクラスターの一番の原因です。都立●●病院では院内感染が発生し多くの死亡者がでましたが、エアコンからウイルスをばら撒いていたのではないかと考えられます。エアコンのウイルス検査の徹底をお願いします。空気感染の防止をしなければ、2波、3波はいまから驚異的に増えると予測されます。新型コロナから日本の経済・医療崩壊を防ぐためには、パチンコ店の衛生管理を見習いましょう。パチンコ店は危険と報道されておりましたが、病院より安全です。このことを全ての業種にもお伝え下さい。

久保田史郎

2020年7月4日

新型コロナウイルスは空気を介して感染しうる

屋内では浮遊菌を減らすために空気清浄機を使うことを勧告している

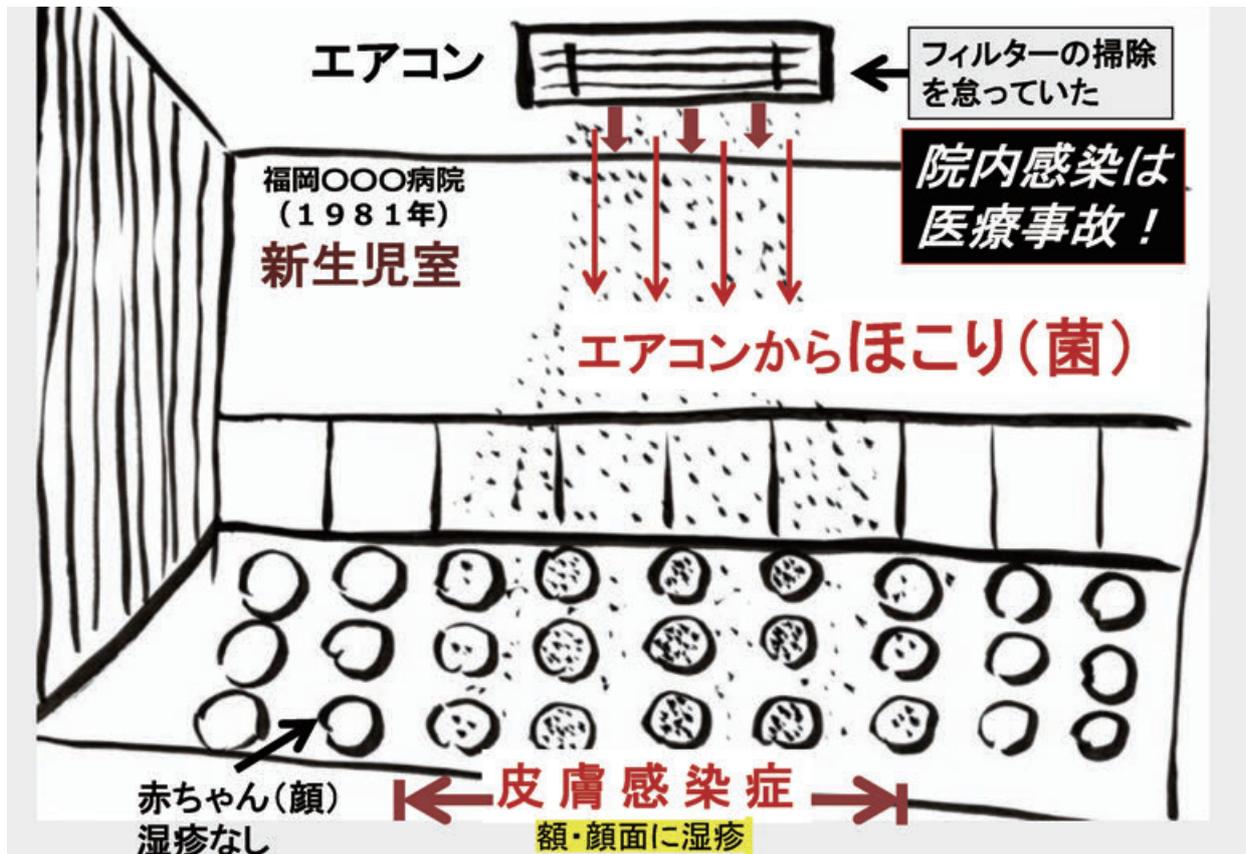


(CNN) 米疾病対策センター (CDC) が公式サイトに掲載しているガイダンスを改訂し、コロナウイルスは一般的に、呼吸などによって空気中に漂う飛沫 (ひまつ) や微粒子を通じて拡散し得ると指摘した。「新型コロナウイルスを含む空気を浮遊するウイルスは特に感染力が強く、簡単に拡散する」としている。

CNN 記事より引用

<https://www.cnn.co.jp/usa/35159860.html>

原因不明の皮膚感染症は“エアコン”からの空気感染だった！



上図は、私が約40年前に勤務していた福岡●●病院の新生児室の見とり図です。新生児室にはいつも20人～30人の赤ちゃんがいました。新生児の額・顔面に湿疹（黄色ブドウ球菌）ができ、毎日のように皮膚科を受診していました。おかしいと思った私は、新生児室をのぞきに行くと、湿疹の赤ちゃんは新生児室の中央に集中しており、天井をみると大きなエアコンの吹きだし口が部屋のだ真ん中にありました。私はエアコンが菌をばら撒いていると考えフィルターを取外すと、すごいホコリが付着しておりました。フィルターを新品に変え、新たに空気清浄器を設置いたしました。それ以来、皮膚科を受診する赤ちゃんは姿を消したのです。新生児室の婦長さんが私の所にやってきて、今回のエアコンのホコリの件は“内密”にお願いしますと・・・耳元で囁いて何事もなかったかのように戻っていきました。医療事故の多くは病院側の都合で原因不明と診断されることが多く、真実は隠されているのが現実です。婦長さんの“内密に”の言葉が、コロナの第10波・第11波を引き起こしているのかも知れません。

病気を防ぐ予防医学こそが最先端医療！

1983年私は福岡市に久保田産婦人科麻酔科医院を開業しました。開業間もない頃、東京の某大学病院でMRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）が流行って、新生児や術後患者さんが感染症で亡くなっていました。感染症の研究者たちは入院部屋やトイレのドアノブの消毒は徹底されていましたが、エアコンのフィルター掃除については指導がありませんでした。不安になった私は当院のエアコンにMRSA菌が付着していないかどうかを調べました。すると一室からエアコンのインとアウトからMRSA菌が出たのです。空気清浄機を調べると吸い込み口のインからは出ましたが、吹出し口のアウトからは出ませんでした。私はそれ以来、当院の分娩室・手術場・新生児室・外来をはじめすべての部屋に空気清浄機を設置、院内感染を防いできました。当院からの院内感染は34年間で一例も出ませんでした。感染症は治療ではなく、予防することの大事さを34年間の開業で学びました。日本の医療は優れていますが、それ以上に、病気を防ぐ予防医学こそが最先端医療であることを再確認しました。

新型コロナは“空気感染”です！

新型コロナウイルスは空気感染しないと言われていました。しかし私は、ダイヤモンド・プリンセス号が日本に着いたときからエアコンによる空気感染を疑っておりました。ダイヤモンド号が横浜港に着いて、患者さんが3つの病院に搬送され、死亡者数は搬送先の病院により大きな差が出ました。その原因はどこにあるのでしょうか。死者を一人も出さなかった自衛隊中央病院は感染症専門の病院であったため、日頃から空気感染の予防を徹底しておりました。つまり、死亡者数は感染症対策が厳重に行われていたかどうかによって左右されていたのです。コロナはもちろん、MRSA・インフルエンザ・ヘルペス・ヘルパンギーナ・溶連菌・手足口病など、原因不明の感染症対策は、先ず最初にエアコンからの空気感染を疑うべきです。それが見逃される理由は、ホコリに付着した菌・ウイルスは肉眼では見えないからです。エアコンの定期的な手入れは徹底されていますでしょうか？新型コロナの再発に歯止めが効かない今、国はエアコンからの空気感染を防ぐためのプロジェクトチームを立ち上げ、対策を講じるべき。都知事は死亡者数が多かった都立●●病院のエアコンの細菌検査を公表すべきです。このままでは、日本は感染症の増加で医療は崩壊します。

エアコンの長所と短所

エアコンは猛暑時の熱中症の予防に不可欠です。それはエアコンの長所ですが、同時に短所があることを皆様は知っておかなければなりません。エアコン（フィルター）の手入れを怠ったホコリだらけの状態での運転、エアコンはあなたの周りに目に見えないホコリ（ウイルス）を巻き散らかしているのです。特に手入れの行き届いていないエアコンはホコリ（細菌・ウイルス）噴霧器と考えるべきです。

全国の病院でクラスターが多いのはそのためです。咳・クシャミがでたら危険信号、窓をあけ空気を入れ替えてください！空調設備がない低開発国ではクラスターは起こっておりません。何故ならば、低開発国では窓を開けた状態で自然の換気が行われ、ホコリを噴霧する空調設備がないからです。新型コロナ退治の基本は、まず空気をクリーンにすることから始まります。

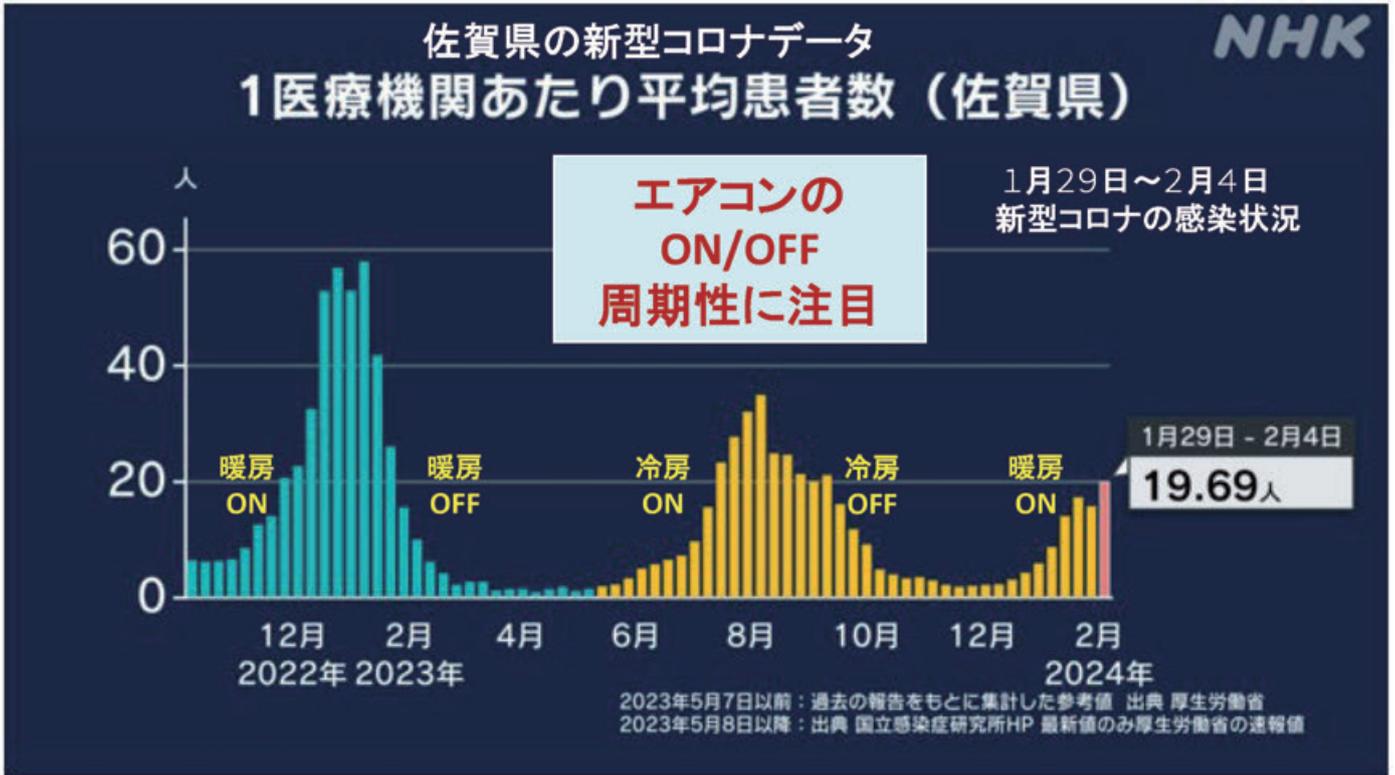
新型コロナ退治はエアコンの消毒と換気が基本

- ①定期的なエアコンの消毒
- ②強力な換気扇
- ③空気清浄機でクラスターを防いでいた



パチンコ店ではクラスターが発生していません。パチンコ店が安全な理由は、死者を一人も出さなかった自衛隊中央病院と同じく、定期的にエアコンの清掃をこまめに行い、その他にも強力な換気扇と空気清浄機が設置されていたことです。都立●●病院でクラスターが発生、死者がたくさん出た理由は、エアコン（フィルター）の清掃が疎かになっていた可能性が強いです。都知事はテレビなどでパチンコ店が危険と公表されておりましたが、当時の都立病院より、パチンコ店の方が衛生管理が厳重に行われていたと思われます。死者をたくさん出した都立病院では最近クラスターは発生していないようですので、現在はエアコンの清掃が厳重に行われていると思われます。東京都保健所はクラスターの原因は何が問題だったのか、真実を公表すべきではないでしょうか。

新型コロナの周期性とエアコン（ON/OFF）との関係



新型コロナ感染症は夏・冬に多いのは何故？

コロナ患者はエアコンの使用頻度が高い真夏、真冬で多くなり、冷暖房の必要性が少ない快適な季節（春・秋）では増えていません。コロナは温くなる春から夏に向かって南国沖縄から増えはじめ、秋になると収束します。冬になると寒い北海道（旭川）から増え始め、春になると収束します。

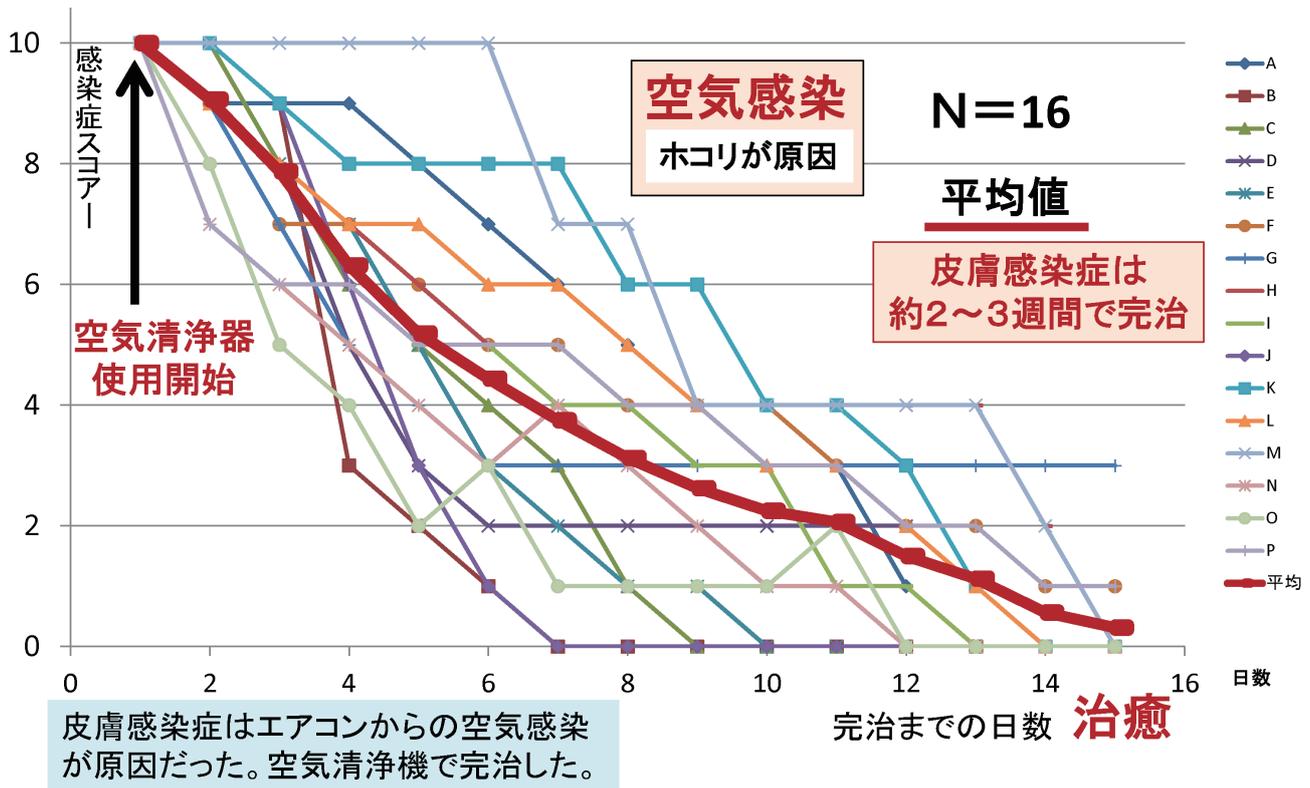
エアコンの手入れを怠り、ホコリがついたまま締め切った部屋で冷暖房を入れるとホコリを部屋中にまき散らします。皆さんは細菌・ウイルスが付着したホコリ（空気）を鼻腔・口腔から肺に取り入れています。咳・クシャミは呼吸器感染の危険信号です。エアコンの清掃をこまめにやりましょう！



院内感染は医療事故



「空気清浄器」に皮膚感染症を防ぐ効果



空気清浄器で皮膚感染症を予防する！

写真は、赤ちゃんの額・顔面に湿疹ができた生後1~3カ月目の新生児16人を対象としました。



空気清浄器 (前)

2週間後

乳幼児の湿疹に多くの母親が悩んでおられました。母親にスキンケアを指導。自宅に空気清浄機を設置しました。約2週間で湿疹はほぼ完治し、薬剤は一切使用しませんでした。これは、スキンケアと空気清浄機による室内のホコリ除去が、自然治癒力を高め、菌の感染力に打ち勝ったためと考えられます。



空気清浄器 (前)

2週間後

同様の原理で、新型コロナウイルスも空気清浄機で除去することで、呼吸器症状を予防できます。手洗い・マスクも重要ですが、空気の汚れを除去する空気清浄機の設置は、より根本的な感染対策です。つまり、室内の空気をクリーンにすることが、新型コロナ対策の基本です。

しかし、国は空気清浄機の有効性を認めていません。34年間の産科医としての経験から、家庭や職場の全てのエアコンに高性能フィルターを設置することを強く推奨します。

療養施設（ホテル）は安全か？

クラスターは、セントラル方式空調のホテル・病院に多発

- ① エアコンが掃除（消毒）されていない
- ② 室内の換気量が少ない（無いに等しい）
- ③ 空気清浄器が無い

★ ホテルは密室で 10 日間 室外に出られない

（ホテルの狭い室内 ⇒ 運動不足 ⇒ 免疫力低下 ⇒ 病状悪化）

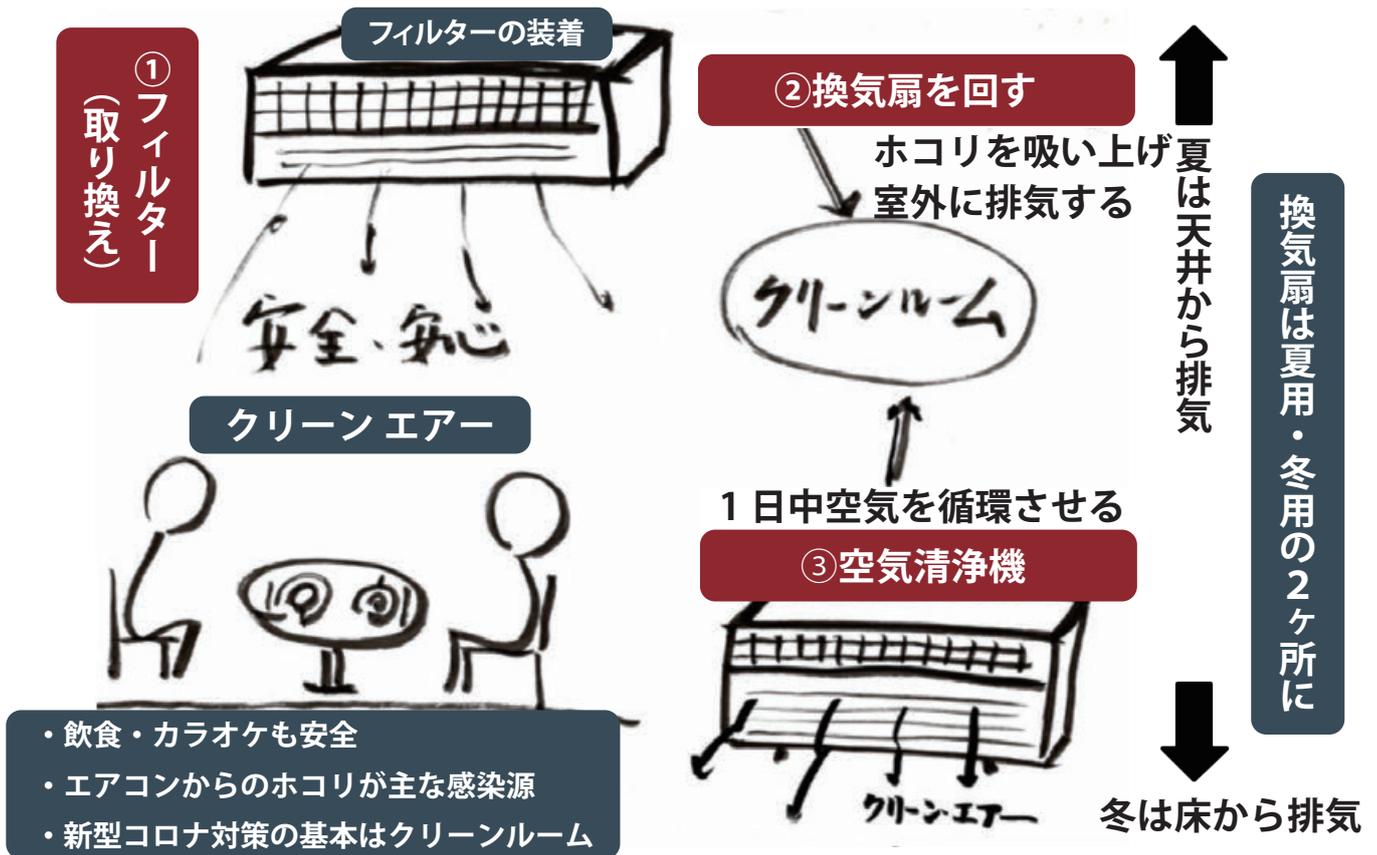
- ・ ホテルに入って3日目頃から手足が“痒く”なる
- ・ 4～5日目頃から、手足に“湿疹”が出来る
- ・ 咽頭痛・ヘルペスなどの訴えがある

療養施設（ホテル）での長期滞在中に発生した痒み・湿疹の原因はエアコンに付着した菌・ウイルスが原因。ホコリに新型コロナウイルスが付着していれば、鼻腔から気管⇒肺に吸い込む。病院やホテルに使用されている「ビル用マルチエアコン」ではクラスターが発生して当然。密室のホテルや病院では空気をクリーンにしなければクラスターはいつでも発生する。とくに病院は、エアコンを清掃・消毒する義務がある。新型コロナなどの空気感染は主に病院から拡散する。行政は、全国民へ“空気感染”の警鐘を鳴らすべき！

多くの病院・ホテルのエアコンは細菌噴霧器！



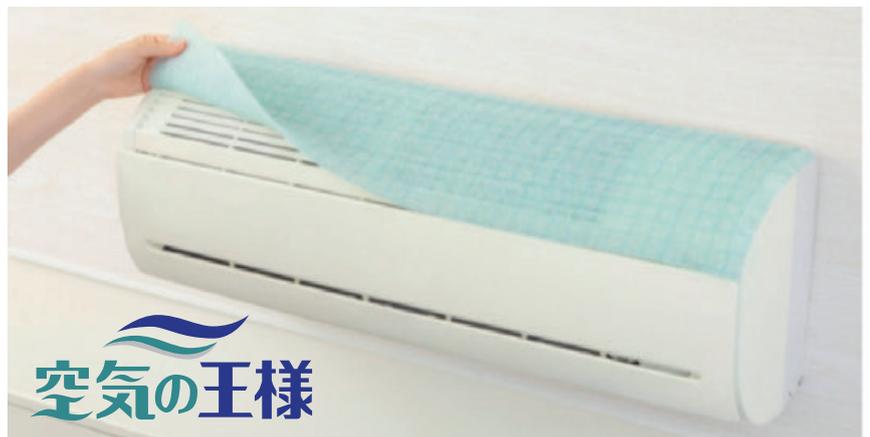
久保田式の①・②・③で呼吸器感染を予防



エアコンにも「AT254 フィルター」を！

エアコンが空気清浄機に早変わり

- ① エアコンが AT254 フィルターの装着で空気清浄機に早変わり
- ② フィルターの装着でエアコンの掃除が不要に (清掃代金が節約)
- ③ 空調の効きがびっくりするほど良くなる
- ④ 電気代が節約
- ⑤ フィルターの汚れを“見える化”する (人間は汚れが見えないと掃除しない)



● フィルターの汚れは、室内の空気の“汚れ”のバロメーターとなる。AT254 フィルターで空気を洗うと、これまで原因不明と診断されていた呼吸器感染症は激減すると予測する。コロナが収束しないのは専門医がエアコンからの空気感染を見逃し放置していたからではないか？ **フィルターのホコリを“見える化”**する事で、室内の空気の汚れを察知することができる。

近年、日本で呼吸器関連の病気が増えたのは、空気の汚れに対する予防医学の概念がなかったからと考える。専門医の反省点はエアコンのホコリ（ウイルス）を見逃した事である。空気が汚れた先進国では、“空気を洗う”新時代に突入するであろう (医学博士 久保田史郎)

天使の希水 水工場
2012年撮影

「水と空気と森の管理人」久保田史郎からのメッセージ

水中に溶けている溶存酸素濃度の高い・低い、人間だけでなく、植物や魚介類などの生育にも影響を及ぼします。人間（大気中）・植物（土中）・魚介類（水中）の全ての生き物は、体内（細胞）に酸素と栄養を摂り入れ成長しています。自然界のクリーンな水とクリーンな空気は全ての生き物を元気に発育させるために不可欠です。ところが、水に溶けている「溶存酸素」が何らかの原因で減少すれば植物の発育は悪くなり、魚も生きていけません。しかし、水中に溶け込んでいる溶存酸素量を増やすことによって、魚（メダカ）は元気を取り戻し再び泳ぎ始めます。人間も溶存酸素を多く含んだクリーンな水を飲むと、植物（ワサビ）や魚（メダカ）と同様に元気を取り戻します。人間が病気をしないで、より健康に、より長生きするためには溶存酸素を多く含んだ光合成する免疫力を上げる非加熱天然水を飲まれる事をお勧めします。

産科医 久保田史郎が提唱する「正常をより正常に」の医療理念が病気を未然に防ぐ予防医学、それがクリーンメディケーションです。水もクリーン、空気もクリーン、また人間もクリーン（誠実）でなければ世の中は幸せになりません。日本で始めた「水と空気のクリーン運動」が世の中を豊にし、世界平和に貢献できる事を願っています！

水と空気と森の管理人 医学博士 久保田史郎

株式会社 風 

久保田予防医学研究所
kubotahp@gmail.com

水と空気と森の管理人
医学博士 久保田 史郎

〒840-0535 佐賀市富士町下無津呂1559
天使の希水 HP <https://tenshino-kisui.com/>

 **0952-57-2005**

営業時間：AM10:00～PM 5:00
定休日：水曜・日曜・祝祭日